

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 28 平成 2015 年 1 月 13 日			
所属学部・研究科	文学部/研究科 4 年次 (留学開始時点)			
留学先大学	ネバダ大学リノ校 (国名: アメリカ)			
所属学部・学科等名	IELC			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 27 年 8 月 14 日 ~ 平成 27 年 12 月 19 日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: F1 学生ビザ			
	ビザ申請先: 大阪・国際アメリカ領事館			
	取得方法, 提出書類: WEB で面接予約をし、大使館で面接を受けた後、ビザ発行。 パスポート、DS-160 確認ページ、カラー写真、面接予約確認書 SEVIS 費確認書、残高証明書が必要。			
	手続きに要した日数: 2 週間程度			
その他必要な事前手続き	ビザ申請をするには SEVIS 費用を申請前に支払う必要がある。			
出国年月日	平成 27 年 8 月 14 日			
経路	大阪→ピョンヤン→シアトル→リノ			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">その他</span> ) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容				
帰国年月日	平成 27 年 12 月 19 日			
経路	リノ→ロサンゼルス→大阪			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	123 万	円	
	内訳	渡航費	28 万	円
		保険料	4 万	円
		教科書代(学費)	2 万(25 万)	円
		宿舍費	20 万	円
		食費	15 万	円
		その他 (ビザ・SEVIS 費) (交際・旅行・雑費) (ワクチン 費)	4 万 20 万 5 万	円 円 円
<b>3. 授業について</b>				
2015 年 秋学期	8 月 20 日 ~ 12 月 11 日			

年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	リーディング・ライティングのクラス、スピーキング・リスニングのクラス、4技能統合型のインテグレイティッドのクラスがある。前2つは平日毎日、インテグレイティッドは週に3回
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合、所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	前半は比較的宿題は少ないほうですが、後半になると小説を読み始めるので忙しくなります。物足りないと感じる人は前半の余裕があるうちにプラスで何かをすることをお勧めします。Webcampus というものを利用するのですが、そこにリスニング教材などがあつたりするのでそれを活用するといいいと思います。
<b>4. 生活等について</b>	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( シェアハウス )
住居の広さ	約 ?? m <sup>2</sup>   同居人の有無   <input checked="" type="checkbox"/> 有 (部屋1人家9人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居費	1ヶ月当たり (現地通貨)   約 5万 円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input checked="" type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )
留学先での住居全般に関するアドバイス	一気に寒くなるので、ヒートテックなどを持っていくことをお勧めします。アメリカでヒートテックを買うと高いです。ルームメイトがいる場合は、最初にルームメイトとルールを決めることをお勧めします。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )
掛け金は	年間 4万円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ( )
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:

留学先国の医療事情 (日本と比較して)	お世話になってないので詳しくは分かりませんが、日本に比べて高いとは聞きました。	
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	寒暖差が激しいので体調を崩さないように注意が必要。 乾燥が激しいのでリップクリームや保湿クリームがあると助かる。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
特に危険を感じた地域はないが、ダウンタウンの方は治安が大学周辺に比べて治安が悪い。ホームレスが多数。友人の女性ふたりがホームレスに後をつけられるということが起きていたので注意が必要。キャンパスエスコートといって学校周辺の半径数キロメートルまでは無料で車で送り迎えをしてくれるので心配な人はそれを活用すると良い。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
近くに Walmart という大型スーパーがあるので基本的にそこで何でもそろえることができる。土曜日から日曜日のどちらかに大学で Walmart 行の無料シャトルバスがでています。 携帯に関して述べると、電話をかけることはほとんどありませんでした。ネットは学内に WiFi があったので基本的にそれを使っていました。日本のようにどこでもネットに繋がりたいという人はアメリカで SIM カードを買ってそれを使うといいと思います。SIM ロックというものがあり、ドコモは国内でしかそれを解除できなかったのですが、アメリカのどこでもネットに繋がりたい人はそのロックを解除してあることを確認してください。因みに、SIM カードはコンビニやその Walmart などでも買えます。		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 29 年 3 月	(当初の卒業予定年月 平成 28 年 3 月)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input checked="" type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	教員	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫		
<b>6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等</b>		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
<b>7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)</b>		
<p>USAC・IELC は日本人がとても多いです。なので、せっかくの留学なので英語を話したいし、外国の人達ともっとお友達になりたい…と思って IELC はあんまり行きたくないと思う人もいるかもしれません。しかし、他国籍の人もそれなりにいます。会話パートナーだってできます。TalkTalk といって毎週一回日本に興味のある外国の人達と日本人留学生が集まり、日本や英語で話す集まりもあります。日本人間でも英語を使って話すこともできます。IELC に所属していても外国の人達とつながりを作る機会はたくさんあるし、英語で話す機会もたくさんあります。日本人のつながりから外国の人達とも繋がりができるかもしれません。なので、積極的に自分からそのような環境を生かして色々と挑戦して行ってください。</p>		

## 学習の概要に関するレポート

今回のセメスターは今までと違い、午前の朝早くからクラスが始まるのではなく、お昼前から始まるような形でした。金曜日のみ午前 9 時からといったように朝早くからの授業でした。クラスは、**Writing & Reading**(以下 W/R)のクラス、**Listening & Speaking**(以下 L/S)のクラス、そして **Integrated**(以下 I)のクラスの 3 つがありました。基本的に W/R、L/S は毎日、I は月水金に行われました。月曜日から木曜日のクラス時間は月・水が、I(11:00~12:40)、W/R(14:30~15:50)、L/S(16:00~17:20)、火・木が W/R(14:30~15:50)、L/S(16:00~17:20)そして金曜日が W/R(9:00~9:50)、L/S(10:00~10:50)、I(11:00~11:50)という形でした。しかし、次のセメスターからまた前の朝早くから始まる形に戻る可能性があります。

次は授業の概要について。まず、授業を受ける前にプレゼンテーションと同日にクラス分けテストがあります。4 技能すべてのテストがあります。それによって **Intermediate** と **Advanced** のクラスに分けられます。( **Intermediate** と **Advanced** それぞれ更に **High** と **Low** に分けられます。) 私は **Low Advanced** でした。

次に、各クラスの内容を述べてゆきます。まず初めに W/R のクラスについて。W/R のクラスでは、その名の通りに **Writing** と **Reading** のスキルを深めるような活動をしてゆきました。**Writing** では主に **Essay** の書き方について学びました。**Essay** のフォーマットを学んだり、文法的なことを学んだりしました。**Essay** を書く課題が多くでたり、授業中にも限られた時間で **Essay** を書くといったことをしました。日本の英語教育では **Essay** を書くということはあまりしていないと思われるので、この活動は非常に自分にとって価値のあるものでした。この活動を通して論理的に論を展開していくスキルが身についたと思われます。また、その **Essay** を添削してもらって、その都度できていないところなどを指摘してもらえるので **Writing** の能力は確実にあがります。**Reading** では、効率的に文を読み進める技能を高める活動をしました。下半期では、小説をひとつ読み進めました。小説を読み進めるのは基本的に宿題で、授業ではその都度指定された範囲についての活動を、グループワークなどを通して行いました。たまに、学習した内容などの確認もかねてゲームなどをしたりした時もありました。

次は L/S のクラスについて。**Listening** では実際に、英語でニュースを聞いたり、講義形式で英語を聞いてノートを取り、その内容についてテストをしました。そもそもアカデミックの準備としての授業なので、講義を聞く際のポイントや効率のよいノートの取り方などを学びました。実際のところ、**Listening** と **Speaking** は **Writing・Reading** と違い、2 つがよく混ざった形で授業は進みました。ニュースや講義を聞いてとったノートやその内容についてペアワークを通して英語で確認したりなど要所に **Speaking** 活動が取り入れられて話す機会が多かったです。また、プレゼンテーションをする機会も多かったです。

最後に **Integrated** のクラスについて。**Integrated** は 4 技能統合型の授業で、技能を高めるというよりは、興味のある内容についての講義を受けるという形でした。**Advanced** のクラスの人は 3 つある中から 1 つを選ぶことができました。セメスターを通して、計 4 回

**Integrated** のクラスが変わりました。ひとつの授業が大体1カ月弱の間隔でした。興味があるものを選べる文内容はとても面白いものでした。

全体の感想として、学習内容・活動は満足のいくものでした。4技能すべてを大きく伸ばすことができたと思います。しかし、日本人が多いところが **IELC** の欠点としてあげられます。この欠点に関しては、日本人間で英語を話す習慣をつけたりといくらでも補うことができます。日本以外の国籍の人もいたりするので積極的に話せば問題はありません。しかし、私のクラスでは他の国籍の生徒がよく宿題をしてこなかったりと怠けている部分もあるのでそこは運という部分もあります。会話パートナーや **IELC** のイベントを通してたくさんの人と話す機会があるので、欠点を補えるかは自分次第です。

## 生活の概要に関するレポート

衣食住とその他の特筆すべき項目を記していきたいと思います。

まずは、衣とリノの気候について。リノの気温は10月下旬まで比較的暖かい気温で、過ごしやすい印象がありました。10月の中旬ぐらいまでは、夏の服装でも十分快適に過ごせます。ただ、乾燥がひどいのでリップクリームやハンドクリームなどを持っていくことをお勧めします。そして、11月上旬になると一気に寒くなりました。秋や春のような時期が圧倒的に短かったです。なので、日本から何着かは冬服を持ってきた方がいいと思われます。その後は毎日寒い日が続き、最高気温が一度などの日が多く、雪が降った日も少なくありませんでした。去年は、雪は積もらなかったという報告がありましたが、私の留学期間中は、3回4回ほど雪が積もり、雪が降ったけど積もらなかったという日もありました。雪が積もった後がとても注意が必要で、夜は気温がマイナスになるのが普通なので、雪が凍ってしまって、スケートリンクのようにつるつるすべることもありました。雨に関して述べると、雨はほとんど降りませんがたまに降ります。アメリカ人学生の多くが傘をささないということには驚きました。ですが、ちゃんと傘を買えるので安心してください。肝心の服をどこで入手するのかというと、ダウントウン、キャンパスの南側にバスステーションがあるので、そこでバスに乗りアウトレットやモールに行って服を買っていました。Legends というところが広くて安いイメージがありました。リノでも十分服の補充はきくので心配しなくても大丈夫です。ただ、ユニクロなどはリノに無く、サンフランシスコなどにはありますが、値段が日本に比べて異常に高いので日本から何着か持ってきた方が確実に良いと思われます。

次は、食と住を交えて述べていきたいと思います。アメリカの食べ物全般に言えることは量が日本に比べて多いです。私はインターナショナルハウスという色々な国から来た人たちと共同生活を営む場所に住んでいました。そこには共同キッチンがあったので時々料理をしていました。食材は Walmart という大型スーパーマーケットという場所で買っていました。Walmart には食材だけでなく、電化製品、調理用品、DVD、家具など何でもそろっているので何か足りないものやほしいものがでてきたらここにいけば間違いなしでしょう。Walmart 行きの無料シャトルバスが毎週日曜日に DC という建物の前から出ているのでそれを活用するのもひとつの手です。しかし、実際のところ私の場合は、授業後は図書館で課題を毎日夜遅くまでしていたので、家で調理することはほとんどなく、Student Union という図書館近くの建物内の飲食店で食べるが多かったです。寮生の友人は、寮にキッチンがないので DC で広大のミールプランのようなプランに申し込んで食べていました。ルームメイトも留学をする際の重要なポイントで、私のルームメイトはとても良い人でしたので仲良く過ごすことができました。初対面の時にルールを決めることをお勧めします。友人の中には、ルームメイトがとても良い人たちばかりの人と、ルームメイトに難がありコミュニケーションがうまく取れなかった人もいました。なので、正直運任せなところがありますが、ルームメイトが重要な問題であることを理解していただきたいです。以上が、生活の概要に関するレポートです。